

➤ 18日 火曜

民数



1:47 しかしレビ人は、彼らとともに父祖の部族ごとに登録されることはなかった。

1:48 【主】はモーセに告げられた。

1:49 「レビ部族だけは、ほかのイスラエルの子らとともに登録してはならない。また、その頭数を調べてはならない。

1:50 あなたは、レビ人に、あかしの幕屋とそのすべての用具、およびすべてそれに付属するものを管理させよ。彼らは幕屋とそのすべての用具を運び、これに仕え、幕屋の周りに宿営しなければならない。

1:51 幕屋が進むときはレビ人がそれを取り外し、幕屋が張られるときはレビ人がこれを組み立てなければならない。資格なしにこれに近づく者は殺されなければならない。

1:52 イスラエルの子らは、軍団ごとに、それぞれ自分の宿営、自分の旗のもとに天幕を張るが、

1:53 レビ人は、あかしの幕屋の周りに宿営しなければならない。わたしの怒りがイスラエルの会衆の上に臨むことがあってはならない。レビ人はあかしの幕屋に関わる任務に当たる。」

1:54 イスラエルの子らは、このようにし、すべて【主】がモーセに命じられたとおりに行った。

レビ人も軍務につくなら、もっと戦力は強められたでしょう。しかし、主はその信仰を何よりも大切になさいます。主を礼拝することをおろそかにするなら、動悸がずれてしまい、一致がなくなります。どんなに人数が多くても弱体化してしまうのです。それよりも戦う意味そのものがなくなってしまいます。

主との交わりがなく、みこころに従うこともなく

努力する人生も、これと同じです。

主がレビ人とその礼拝の働きを不可侵としたように、私たちの礼拝とデボーションも不可侵としましょう。「主が命じたとおりに」行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

